



DATA

立科白樺高原ユースホステル

〒384-2309 長野県北佐久郡立科町芦田八ヶ野1020
電話:0267-55-6601 URL:<http://www.jyh.gr.jp/tateshina/>

夢科山の麓に位置し、団体専用キャンプ場・バーベキュー場を含む2千坪の敷地を有したユースホステル。夏は標高1500mの避暑地として、春・秋は高原の花や紅葉、トレッキングなど、冬はスキーなどウインタースポーツの拠点としても最適。

森と湖に囲まれたユースホステルから、 必要とする人に旅を届けたい

Youth Hostel
Pick Up

立科白樺高原
ユースホステル





日本屈指の晴天率 立科の自然を楽しむ

日本百名山のひとつ、蓼科山(標高2,531m)。その麓に位置する長野県立科町は、ひょうたんを引き伸ばしたような形で南北に細長く、“くびれ”にあたるわずか53mの最狭部を境に北と南で違った自然の楽しみ方を教えてくれる。町民の約90%が暮らす北部は里山エリアと呼ばれ、のどかな田園風景が広がる。日本屈指の晴天率と高原の大きな寒暖差が米や蕎麦、りんご、信州蓼科牛といった信州の“食の魅力”を育てている。南部は森と湖に囲まれた高原のリゾート地。白樺の木々の間から湖を眺めるロケーションは、どこか北欧の風景と似ている。春から秋はカヌーやトレッキング、冬はウィンタースポーツと一年を通してアクティビティには事欠くことがない。そんな立科町南部の女神湖のほど近くに広がる森の中に「立科白樺高原ユースホステル」はある。

「ここならどれだけ騒いでも周りに迷惑になることはないから、子どもを思いっきり遊ばせられるんです」。手作りの遊具が散りばめられた森を歩きながら、立科白樺高原ユースホステルのマネージャーで、日本ユースホステル協会の理事長も務める寺島 眞さんは柔らかに笑う。「周りの自然環境が本当に魅力ですね。この辺りは野生の鹿が生息しているので、春から秋は夜に鹿を見に行くツアーをやっています。冬は女神湖の凍った湖面を歩きながら満天の星空を見る“星見ツアー”もやっているんですよ」。

PROFILE 寺島 眞

静岡県出身 1989年に日本ユースホステル協会に入職し立科白樺高原ユースホステルに配属。その後、陸前高田ユースホステルのマネージャーを経て、1995年より立科白樺高原ユースホステルのマネージャーに。2017年からは日本ユースホステル協会理事長も兼任。

マネージャーになって見えた、新しい景色

寺島さんがユースホステルの世界に踏み込んだきっかけは大学時代の旅だった。「当時はユースホステルで働こうと思っていたわけではなくて、大学を卒業した後は“のんびり仕事をしながら、好きな本が読める生活がいいなあ”って、それ位に進路を考えていたんです。田舎で育ったので田舎が好きだったのかな。漠然と“農業とかが自分に向いているのかも”なんて考えていた時期にたまたま訪れた和歌山でみかん農家のお手伝いのアルバイトを見つけて働くことになって。そこがたまたまユースホステルも併設するみかん農家、有田オレンジユースホステルだったんです。それから2年間位、東京と和歌山を行ったり来たりしながら、みかん農家とユースホステルの仕事を手伝っているうちに、ユースホステルで働くことが仕事になった。そんな感じですね(笑)」。その後、1989年に日本ユースホステル協会に入職した寺島さんは職員としてキャリアを積み、2年後にマネージャーとして東北のあるユースホステルに赴任する。奇跡の一本松と共に東日本大震災の震災遺構となった岩手県の陸前高田ユースホステルだ。「海の近くの松原の中にぼつんと一軒だけ離れて建つユースホステルでした。周りには松以外何もなくて、地元でも海の家だと勘違いしている人がいたくらい、マイナーな存在だったんです。もっとゲストと地元の人がふれあえるユースホステルにしたいくて、地元の人しか知らないようなディープなスポットを案内するツアーを企画したり、ジャズのミュージシャンを呼んで地元の人も遊びに来れる演奏会を開いたり、交流の場になるイベントを行っていったんです。そうしたらだんだん地元の人がフラッとユースホステルに遊びにきてくれるようになって、その内地元の人がゲストをつれて陸前高田を案内してくれるようになったんです。旅って泊まる場所だけで完結するものじゃなくて、周りの自然とか地域のお店とか地元の人とか、全部込みで楽しむものだ、私は思うんです。“周りを巻き込んで魅力を高めていく”、そういう感覚は陸前高田ユースホステルを運営する中で身についたのかもしれないですね」。





1. ロビー兼リビングスペースは、天井がとても高く開放感がある。天井付近には、多くの窓も設置されているので昼間入ってくる自然光が気持ち良い。2. バリアフリー対応の大浴場は広々としていて、ゆったりと入浴することができる。窓から見える白樺の森でリラックス効果抜群。3. 温もりを感じるゲストルームからも白樺の森を見ることが可能だ。

自分のやりたかったことに気付かされた、子どもたちの成長

寺島さんが大切にしているプログラムが立科白樺高原ユースホテルにある。子どもたちが親元を離れて自然の中で共同生活を送る『たてしな子ども自然体験村』だ。1999年から毎年夏と冬に実施しているプログラムで、全国から集う出身も年齢も異なる子どもたちが共同生活を送る中で自主性や協調性を育むことを目的にしている。「乗馬のプログラムができる牧場を探したり、協力してくれるボランティアリーダーを集めたり、当初は必死でしたけど、ユースホテルで働く楽しさを再認識させてくれたプログラムだと思います。当時、自分の中でユースホテルがただの宿舎になってしまうような感覚があって、どこかモヤモヤとしていたんでしょうね。参加してくれた子どもたちが変わっていく姿を見たときに、『ああ、この仕事をやっていて良かった!』と思いましたね。最終日に『帰りたくない!』って泣いている子ども達を見ながら、私たちスタッフもみんな泣いてしまいました(笑)」。

たてしな子ども自然体験村を企画する中で、もうひとつの大切なプログラムも生まれた。「乗馬のプログラムをお願いしていた牧場で、RDAという障がいを持った方が体験できる乗馬プログラムをやっていたんです。そのプログラムを見た時に、知的障がいや発達障がいをもった子どもが楽しめるスキースクールを思いついたんです。自然体験村を企画する中で知り合ったスキーコーチのコミュニティもあったので、マンツーマンのスクールであれば、出来そうだなと。しかし、寺島さんのアイデアは当初スタッフから反対されたという。「私含め、スタッフ全員が障がいを持った子どもたちと触れ合った経験がありませんでしたから、心配になる気持ちは理解できました。なのでまずは私一人だけでも対応できるように、子どもの障がいについて勉強して、そこで得た知識をスタッフと共有して。そうやって少しずつ規模を大きくしてきたプログラムです」。

泊まるだけじゃない、これからのユースホテルの役割

“すくすくスキースクール”と名付けられたこのプログラムを運営する中で思わぬ発見もあったという。「参加してくれた子の親御さんと話さず中、障がい児をもつご家族が旅先はもとより普段の生活の中でも常に『迷惑をかけていないか』と、気を使って生活されていることを知りました。このユースホテルは施設の中に広いホールもありますし、天気がよければ周りの森でも遊べる。多少騒いだって、走り回ったって問題ありません。スキースクールに参加してくれるお子さんが楽しんでくれるのはもちろんですけど、ここに滞在している間だけでも、親御さんにはそういう緊張した日常から開放されてほしいと思っています」。

2017年に日本ユースホテル協会の理事長に就任した寺島さんは、“旅をしたいのに、何らかの理由で旅ができない人たち”に旅する機会を作ることがユースホテルの役割の一つになると考えている。「日本ユースホテル協会では2017年から、『Sleep for Peace (Say HI for Peace) - ユースホテルから旅を贈ろう -』というプログラムを始めました。これは対象期間内にキャンペーンに参加するユースホテルにご宿泊された方一名ご一泊につき250円を宿泊料の中からプールさせていただき、旅する機会に恵まれない子ども達に旅をプレゼントするというものです。新型コロナウイルスの影響でここ数年は実施を見送っていますが、状況の回復を待って、また再始動させたいと考えています」。

チャレンジを続ける寺島さんに、その原動力はどこにあるのか尋ねると、嬉しそうにこう答えてくれた。「楽しさですよ。もちろん新しいことを始める前や直後って大変なことが多いですけど、旅を必要とする人に旅が届いて、笑顔で帰って行く。こんなに楽しいことはないです!」。

立科白樺高原ユースホテルのこれからのチャレンジがますます楽しみになった。



鳥の名前が付けられたゲストルームの扉に飾られているイラストは「子供自然体験村」に参加した男の子が描いたものだ。



提携する牧場で楽しめる乗馬は人気プログラムのひとつ。経験豊富なスタッフと比較的落ち着いた馬が、はじめての乗馬にぴったり。



高い晴天率と、極上の雪質を誇る「白樺高原国際スキー場」までは徒歩圏内の距離。ユースホテルを拠点に楽しむのがおすすめ。

MAP
A 牛乳専科もうもう



1969年に創業し、50年以上牛乳・ソフトクリームを提供し続ける乳製品の専門店。やはり一番人気は「ソフトクリーム」。放牧されている牛たちと、浅間山や蓼科山を眺めながら濃厚なソフトクリームを口にしたら旅の醍醐味を体験できるはず。

長野県北佐久郡
立科町芦田八ヶ野40-1
TEL:0267-55-7557

MAP
B たんぽぽ



昭和レトロを感じさせるロジック風のカフェは45年前に建てられた。手作りのアップルパイは、地元のりんご“紅玉”を使い、毎日丁寧に焼き上げられる。紅玉の酸味が心地よく、優しい味わい。サイフォン式で丁寧に淹れるコーヒーをお供に。

長野県北佐久郡
立科町芦田八ヶ野1017
TEL:0267-55-6505



MAP
C 柚人の家



店内にジャズが流れ、シックな雰囲気が楽しめる隠れ家のようなお店。そばを仕上げるために重要となる水は蓼科の水がふんだんに使われる。人気の“柚人セット”は、地元の旬な野菜を揚げた天ぷらと、こだわりの甘味も付くのでオススメです。

長野県北佐久郡
立科町芦田八ヶ野410-11
TEL:0267-55-6363



立科町おすすめ
SPOT

立科白樺高原ユースホステル

立科町ってこんなところ！

長野県の立科町(たてしなまち)は、長野県の東部に位置して南北に長く、中央部はくびれている形をしているため大きく北と南のエリアで分けられる。南部の高原エリアは、日本百名山である蓼科山がそびえ立ち、女神湖や白樺湖、蓼科牧場を有する行楽地で、野生動物にも遭遇するような大自然が広がる。北部は、史跡や寺社などの歴史を感じられる街並みとどかな田園風景が広がる。北部にある津金寺は、1,300年以上も前に建立された歴史を持ち、毎年夏には夜観音万灯会(よるかんのまんどうえ)が開催され、幻想的な風景を作り出す。

MAP
D 御泉水自然園



蓼科山の清らかな水が湧き出る地域「御泉水(ごせんすい)」に整備された自然園の広さは東京ドーム約36個分。高山植物が咲き誇る場所もあるが、オススメは朽ちた倒木や、大きな岩石が一面のコケに囲まれているエリア。まさに異世界に迷い込んだ感覚になれる場所だ。

長野県北佐久郡立科町芦田八ヶ野
TEL:0267-55-6131(御泉水自然園ビジターセンター)

MAP
E 女神湖



勝利の湖とも呼ばれるパワースポットで、紅葉の時期は湖面に映り込む山々の美しさに言葉が失う。ボート、カヌーやカヤック、冬はスノーシュートレッキングも楽しめるが最近人気なのが、ペダルを漕ぐだけで湖面をアメンボのように進めるロボアメンボ。

長野県北佐久郡立科町女神湖畔987
TEL:0267-55-6210(女神湖センター)

MAP
F 女神のテラス1830



標高1830メートルから、女神湖や北アルプスを一望できる絶好のロケーション。冬はスキー場として活用される場所のため、広く開かれ絶景を楽しめる。標高が高いため、夏でも涼しい風がそよぎ、ハンモックに揺られると至福の時間を満喫できる。

長野県北佐久郡立科町芦田八ヶ野
TEL:0267-55-6131(御泉水自然園ビジターセンター)

読者
プレゼント

抽選で **ご宿泊券(1泊2日)ファミリー1組(4名)様にプレゼント!**

ご応募は日本ユースホステル協会ホームページの専用お申し込みフォームから!

<http://www.jyh.or.jp/hm/>
応募期間: 2022年12月末日

※なお、当選発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。





つづきをダウンロード(無料)



Hostelling Magazine vol.30
まとめてダウンロード



LiLiCoの映画で世界を旅しよう!..... P17



Cover Interview P02

辻井 伸行
みんなが世界中の人と
つながってほしい



おしえて!旅GIRL P18



Youth Hostel Pick up P10

立科白樺高原ユースホステル

森と湖に囲まれたユースホステルから
必要とする人に旅を届けたい



松島むうの晴れときどき旅びより P19



Hostelling Magazine x 地球の歩き方 P14

音楽の都 ウィーンを旅する



YH-GUIDE ユースホステルガイド P20

関東/北信越地方



FYI, from HI-Office P16

発行所: 一般財団法人日本ユースホステル協会

編集・発行人 寺島眞

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

国立オリンピック記念青少年総合センター内

※本誌の情報は2022年9月20日現在のものです。

変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。

※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。